

SMCが行うDX

目次

1. SMCのDX定義
2. DXビジョン・推進方針
3. DX推進戦略
4. DX推進体制（推進・セキュリティ）
5. 最新情報処理技術を活用するための環境整備
6. DX推進を行う上での指標
7. DX人材の育成
8. DX推進戦略状況

1. SMCのDX定義

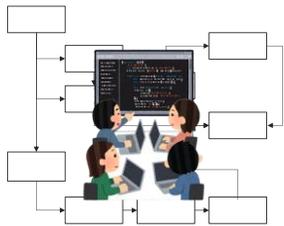
SMCが行うDXとは？

SMCが行うDX …… 定義

お客様DX推進に向け、DXを実現できる技術を提供する

- お客様業務に精通し、デジタル技術を用い業務改善することができる
- 特化したデジタル技術を活用し、お客様課題を解決できる
- 自分たちの業務から率先してDX化し、蓄積した経験値を世の中に送り出すことができる

SMCのDX



デジタル技術による
業務改善



課題解決



DXを用いた仕組み
の創出

DX実現技術の提供



2. DXビジョン・推進方針

デジタル技術を活用し、お客様や社会に喜ばれる変革を行い、 更に「惚れられるサービス」を提供しよう!

当社は時代の変化に応じた技術を磨き、Speed・Moral・Challengeの精神のもと、地道に、愚直に、徹底的に企業活動を推進してまいりました。これまで「お客様に惚れられるサービスを社会に提供」する中で、大規模災害や今般のCOVID-19のような感染症を経験し、今後より一層、デジタル技術を活用し、**お客様や社会が喜び、嬉しく思っただけことが重要**と考えております。社員が誇りに思えるサービスの提供を追求し続け**お客様の事業を持続可能**とすることが、私達の目指す「DX」であると考えております。

- ・D(Digital) : デジタル技術の活用
- ・X(Transformation) : お客様や社会が喜び、嬉しく感じる変革

私達は、お客様や社会の様々な課題解決を行い、また付加価値の創造・提案が行なえる会社で在り続けたいと考えます。そのために**多様性を受け入れインクルージョン(D&I)を高めること**により、様々なアイデアを取り入れ、また、**失敗を繰り返すことでより良いサービスを提供し続ける**、というチャレンジ精神を持ち取り組んでいきます。DX推進に対しては、**強いリーダーシップを発揮し、今迄の業務プロセスや文化・風土も変革**し、経営理念にある「安全・安心」を更に徹底し、Society5.0の社会に向けた貢献ができるよう努力してまいります。

DX推進方針

【方針1】お客様の業務を熟知する

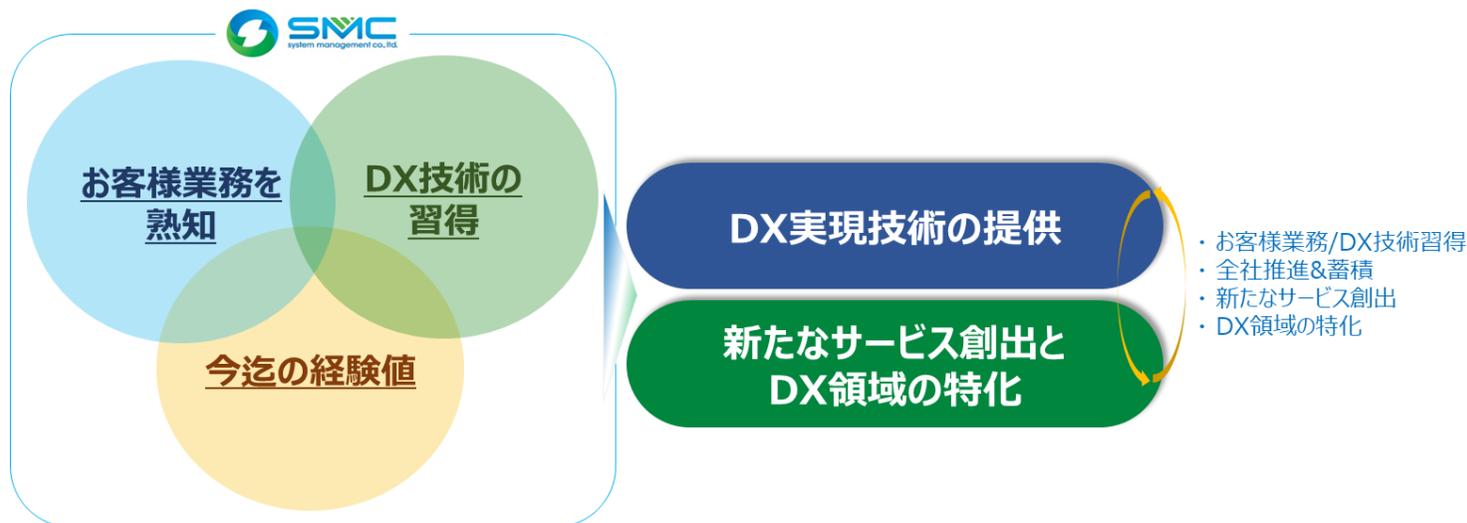
- ✓ お客様の業務と関連する物事を結び付け、業務全体を熟知する。
- ✓ 業務課題に対し、デジタル技術を活用した付加価値を付けた課題解決に向けた提案を行う。

【方針2】お客様DX推進を後押しする技術を習得し共有する

- ✓ DX技術を習得する場（座学、OJT）を積極的に作り、今有るスキルにDX技術を上乗せする。
- ✓ 習得した技術を社内で共有し、同様の技術習得を目指す社員の学習材料としていく。
- ✓ 社内業務にデジタル技術を用い、社員に喜ばれる変革となるように業務改善をしていく。

【方針3】新たなサービスの創出とDX領域の特化

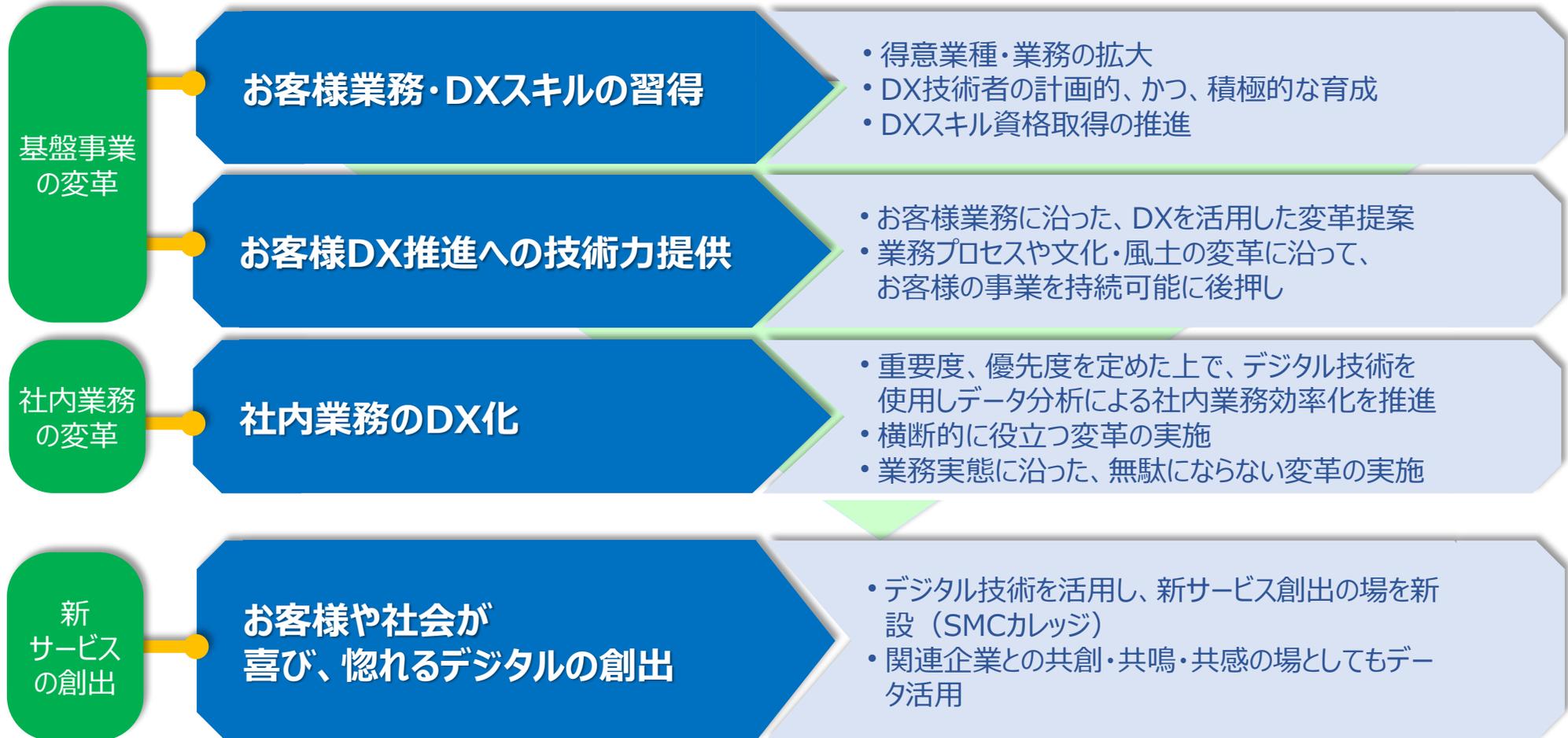
- ✓ DXを実現する技術を提供し続け、その中で培ったノウハウをもとに、お客様や社会のニーズに沿った新たなサービスを創出し、また、特化した領域を見出していく。



3. DX推進戦略

DX推進戦略

今迄の技術・ノウハウにDXスキルを上乗せし、お客様DX推進を後押しする技術を提供するとともに、社内業務の効率化などの事例を増やし、新規ビジネスを創出していく。



DX推進ロードマップ

2021年
(34期)

2022年
(35期)

2024年
(37期)

DX人材の育成、社内業務のDX化を進める中で蓄積した知見を、お客様のDX推進を後押しする技術力として提供し続けていく



各期末に振り返り→特化する方向性を確認

**新たなサービス創出による
事業領域の拡充
(DX領域での特化)**

準備・立上げ

お客様や社会が喜び、惚れるサービスの創出

お客様DX推進への技術力提供

社内業務のDX化

お客様業務・DXスキルの習得

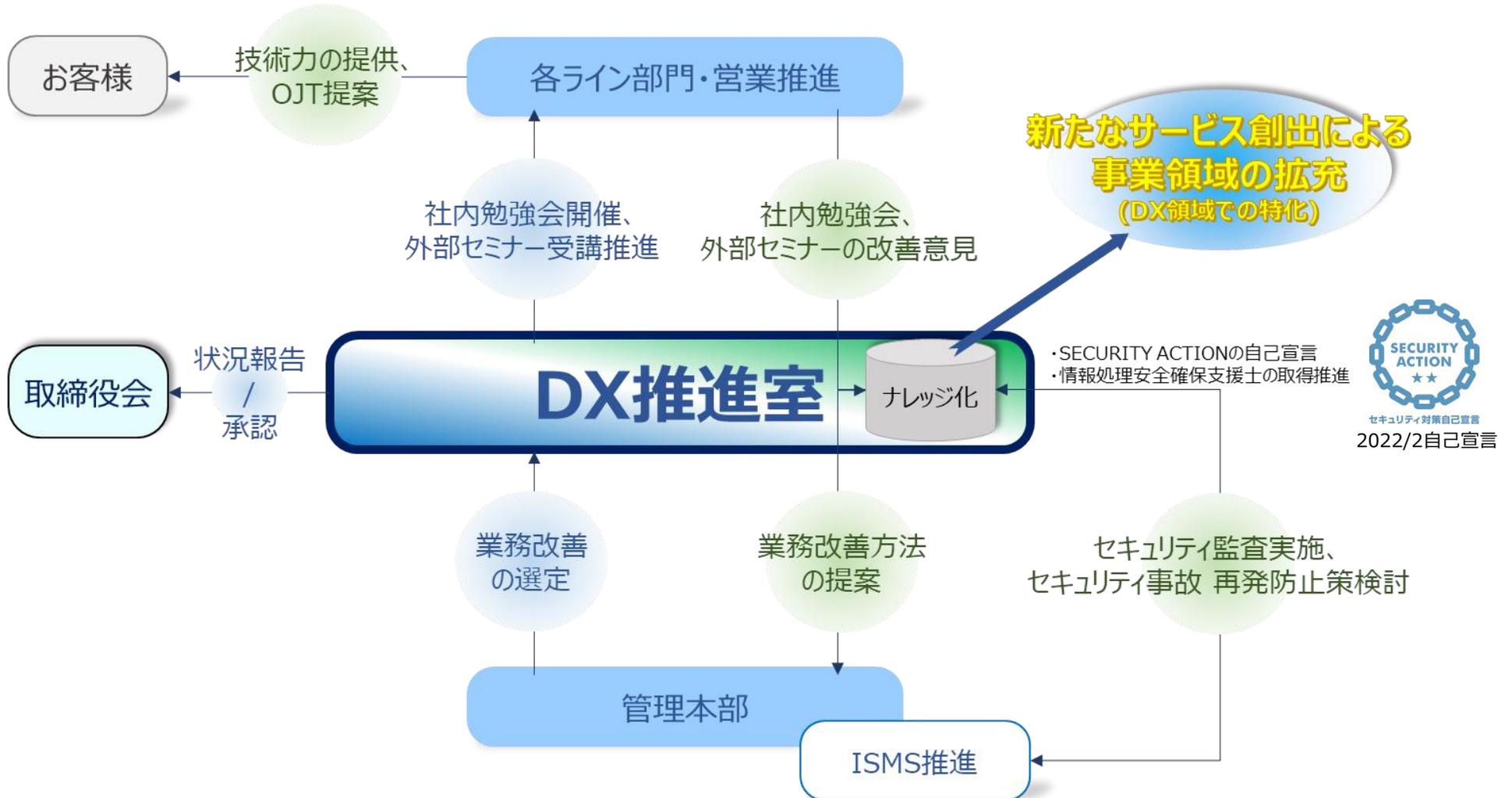
« DXビジョン »

デジタル技術を活用し、お客様や社会に喜ばれる変革を行い、更に「惚れられるサービス」を提供しよう!

4. DX推進体制（推進・セキュリティ）

DX推進体制

DX推進室を新設し、各ライン・営業推進・管理本部と連携し、スキル習得推進・社内業務のDX化を進め、蓄積されたノウハウをベースに新たなサービスを創出する。



5. 最新情報処理技術を 活用するための環境整備

最新情報処理技術を活用するための環境整備

お客様DX推進を後押しする技術を提供するための知見蓄積、及び、アイデア出しから具現化に向けた取組みを後押しする投資を実施していく。

DX技術の知見蓄積

DX推進室が定める資格取得や、重点に定めたDX技術を習得するための外部研修受講を後押しするための投資を実施する。

アイデア出し→具現化に向けた取組み支援

社員が世の中や社内で感じている困り事を、DX技術を用い具現化していくワーキンググループ活動を行うための投資を実施する。

6. DX推進を行う上での指標

DX推進指標

DX推進の2022年から3年間の目標として以下2点を掲げる。
お客様DX推進への貢献を行いノウハウを蓄積していき、新サービス創出への基盤を構築することが目的となる。

有資格者の割合を50%以上に！

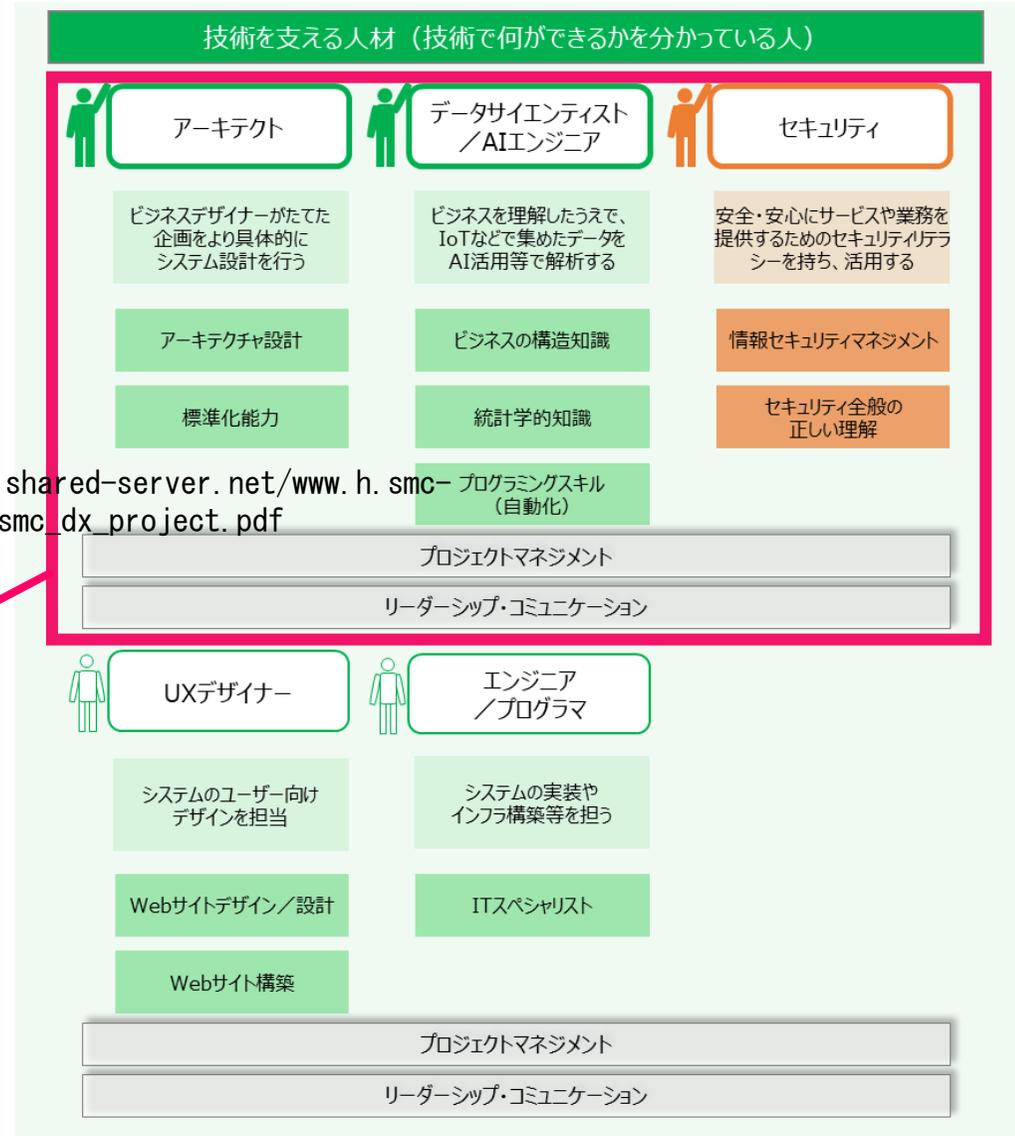
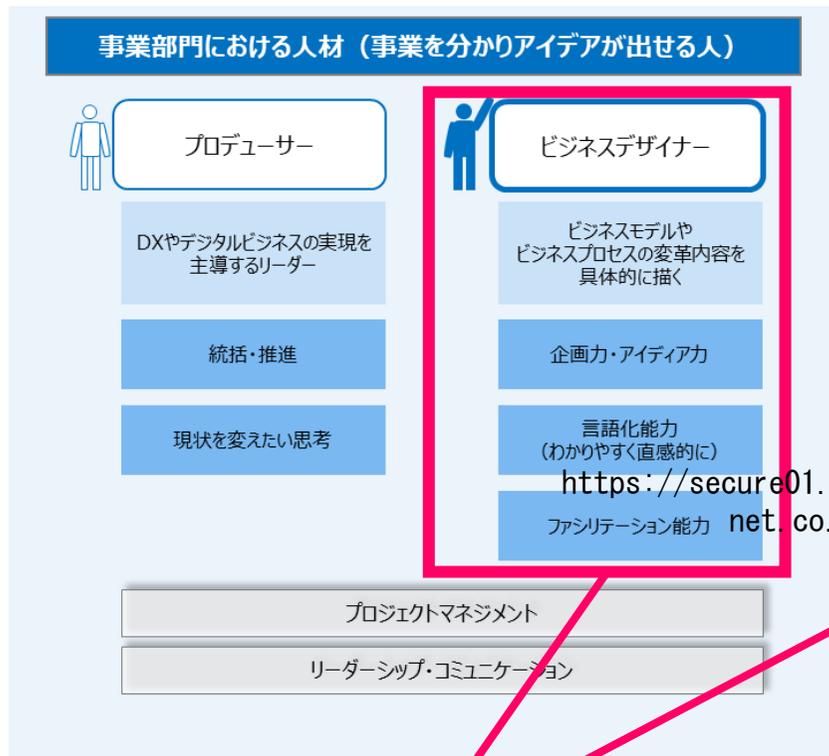
DX推進室が定める資格取得を積極的に推進し、お客様DX推進を後押しする技術を提供することができる人材を増やしていく。

DX関連の受注割合を20%以上に！

お客様のDX推進に対する支援や、DXスキルを用いた技術支援による全社の受注割合を持ち上げ、世の中のDX推進に貢献していく。

7. DX人材の育成

育成に注力するDX人材



https://secure01.red.shared-server.net/www.h.smc-net.co.jp/smc_dx_project.pdf

SMCが育成に注力するDX人材

- ・DX人材に必要な資格抽出&取得推進
- ・計画的なDX人材育成研修の受講を推進

8. DX推進戦略状況

SMCのDX推進状況について

当社は2022年より社内組織を改編し、デジタルトランスフォーメーション（DX）を推進してきました。この取り組みについて、以下に現状の進捗状況についてご報告いたします。

お客様業務・DXスキルの習得:

2022年には、社員がDXに関する資格を取得する機会を提供しました。これにより、社員のDXスキルや知識の向上を図りました。社員が新たに合計24のDX資格を取得し、それぞれの専門分野でのDX推進に寄与しています。

お客様DX推進への技術力提供:

当社では、お客様のDX推進を支援するために、さまざまな技術力を提供しています。お客様のビジネスに貢献するため、常に最新の技術トレンドを追い求め、それを活用しています。

社内業務のDX化:

業務プロセスの見直しと自動化を通じて、効率性と生産性の向上を図っています。クラウドシステム(Microsoft365)の導入により、社員はより効果的に業務を遂行できるようになりました。また、内部コミュニケーションの円滑化や情報共有の強化にも活用しており、組織全体の連携が向上しました。

お客様や社会が喜び、惚れるデジタルの創出:

私たちはお客様や社会が喜び、魅了されるようなデジタルソリューションを創出することにも注力しています。その一環として、社内にSMCカレッジを新設しました。SMCカレッジは、新サービスのアイデアを生み出す場として活用され、2つの社内DXプロジェクトの立ち上げにも貢献しました。このような取り組みを通じて、お客様との関係を強化し、競争力のあるデジタルソリューションを提供しています。

弊社のDX推進戦略はまだ進行中であり、今後もさらなる改善と成果を目指して努力を続けます。お客様との信頼関係を深め、新たなビジネスチャンスを見出すために、デジタル技術の最新動向を常に把握し、積極的な変革を推進していきます。

2023.07.21
代表取締役社長 兼 DX推進室 室長
吉橋 幸二
Kouji Yoshihashi



SMMC
system management co., ltd.